

第9回自然観察指導員全国大会・2020大阪

分科会②

あつまれ！ユース！若ものがひらく新しい地域活動

2020年1月25日(土)



Change Our Next Decade[COND]

代表 矢動丸琴子

国際自然保護連合日本委員会事務局
ユースプログラムディレクター

矢動丸 琴子 (やどうまる ことこ)



- 1993年11月26日生まれ(現在26歳)
- 千葉県松戸市在住(出身も千葉県)
- 千葉大学大学院園芸学研究科 博士後期課程在籍
 - ー 専門は環境健康学・人間植物関係学・環境教育学
 - オフィスワーカーのストレスを植物や自然の力を用いて軽減をしようとする研究をしていました
- 現在は休学して、IUCN-J(国際自然保護連合日本委員会)の事務局スタッフ兼ユースプログラムディレクターとして勤務
- 2020年に向けて、COND(Change Our Next Decade)を立ち上げ。代表を務めている。
- IUCN-WCCユースサミット(2020年6月@フランス)の運営委員

生物多様性・環境分野関連の活動実績



- 生物多様性条約準備会合 参加
(2018年7月@カナダ・モントリオール)
- 生物多様性条約第14回締約国会議 参加
(2018年10月@エジプト・シャルムエルシェイク)
- 第1回ポスト2020特別作業部会 参加
(2019年8月@ケニア・ナイロビ)
- セミナー「わかものの意見が生物多様性のミライだ！」主催
- 世界ユース主催のアジア地域能力養成WSへの参加
- 中国ユースを日本に招聘し開催した日中ユースWSの主催
- 中国ユースとの協働WS 参加@中国・昆明
- 「生物多様性ユースアンバサダー」事業の統括



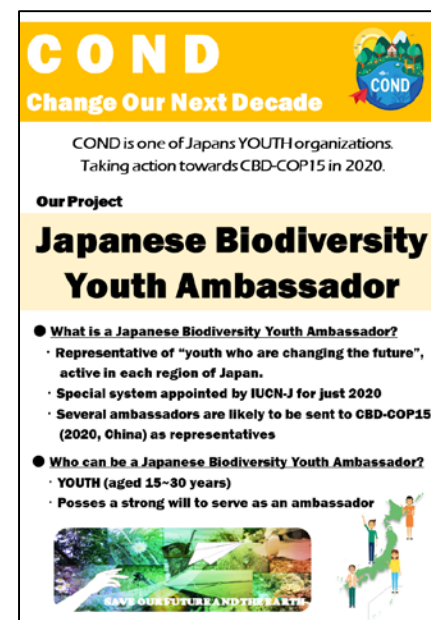
⇒現場での活動 < 会議参加やセミナー・WS主催

Change Our Next Decade とは？



■ COND(Change Our Next Decade)

- **CBD-COP15に向けた活動に特化**したユース団体(2019年8月設立)
- **日本全国のユースを巻き込む**ことに主眼におく
→ 「**生物多様性ユースアンバサダー**」 と
「**生物多様性ユースメッセンジャー**」 事業を展開
- **国際会議での事例紹介・発信**
- 政策提言も含め、**日本ユースの意見を国際会議の場で表明**することを目指す
→ パブコメ提出等日本国内でも意見表明を実施
→ 環境省の方と非公式な意見交換会も実施予定
- **中国ユースとの協働**を進めている



国際会議の様子@ケニア,ナイロビ(2019.8)



国際会議の様子@エジプト,シャルムエルシェイク(2018.11)



**地域に根付いた活動と
国際的な活動や政策の話なんて
関係ないんじゃないの？**

■ Transformative Change – 社会変革

- 自然保護はもう自然保護の分野だけでは語れない
→ 経済・貧困・開発・教育等々が抱える様々な社会課題の解決が必要
=これまでとは違ったアプローチで社会を変革させる必要がある
- 2020年10月に世界共通の目標として決められる予定の「**ポスト2020目標**」のキーワードに
- 環境省も注目している = **国の政策にも影響**する可能性あり

地域に根付いた活動にも国際的な動向や政策も意識した「新たな視点」を取り込む必要がある

世界の取り決めで有名なものと言えば！

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

**地域に根付いた活動と
国際的な活動や政策の話が
関係ありそうなことは
なんとなくわかったけど
じゃあどうしたら良いの？**

事例紹介：生物多様性ユースアンバサダー



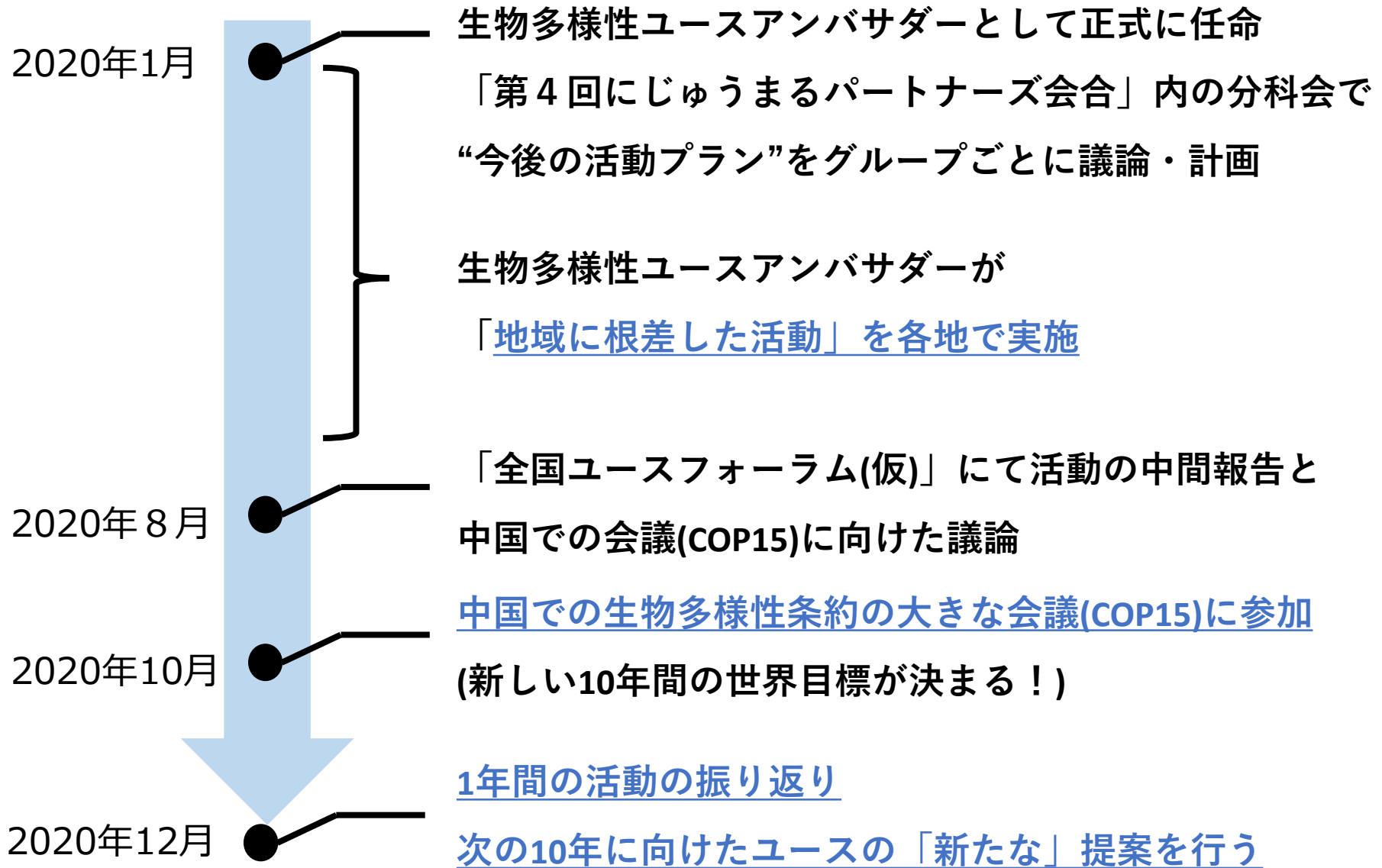
- **日本全国各地のユースを巻き込んで活動**するための仕組み
- 15歳～28歳の日本ユース**31名**(団体を含む)を任命
 - * 応募は54名：需要が高かった
 - 「生物多様性や環境のために何か活動したい」「同世代の人と一緒に頑張りたい」等、日本ユースの一步を踏み出すための後押しに
- **国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J)**が任命
- **2020年限定**の特別な制度(活動期間：2020年1月～12月)
- **地域ごと**のチームに分かれそれぞれ活動を行う(全8～10チーム)

**COP15に向けた日本ユースの
強固なネットワークとして場と役割を提供**

1月11-13日@名古屋での決起会・任命式の様子



事例紹介：生物多様性ユースアンバサダー



生物多様性ユースアンバサダーの主な活動



日本国内

1.地域での10年間の振り返り

2.未来に向けた新たな仕組みや展開を地域ごとに提案

* UNDB-J主催の「せいかりレー」と連動

国際

関連する国際会議への出席(アクションや提言活動の実施)

* 全員ではなく代表者のみ

分科会：WS① これまでの10年を振り返る



分科会：WS① これまでの10年を振り返る

チーム名： CONT

年/項目	① 都市緑地の環境保全(東京)	② 都市緑地の活用(東京)	③ 都市緑地の生態系(東京)	④ 環境に関連した条例(東京)
2020	- 企業からの取組み - 行政との連携(以下略) - NPO、NGO等との連携(以下略)	- 地域への環境教育の取組み - 公園の利用頻度 - ワークショップ等	- 猛獣類の生息状況 - 絶滅危惧、天然記念物 - 外来種はどうか	東京都の条例(緑地条例)
2019				
2018	① 都市緑地のゾーニング	② 都市の再開発	③ 緑地の生態系	④ 都市の再開発
2017				
2016				
2015				
2014				
2013				
2012				
2011				

2. フォーラムワーク
公園に実際に行く、オフ会など

3. インタビュー
研究者、公園実務者の方

4. アンケート
学生への認知度調査(前2年)

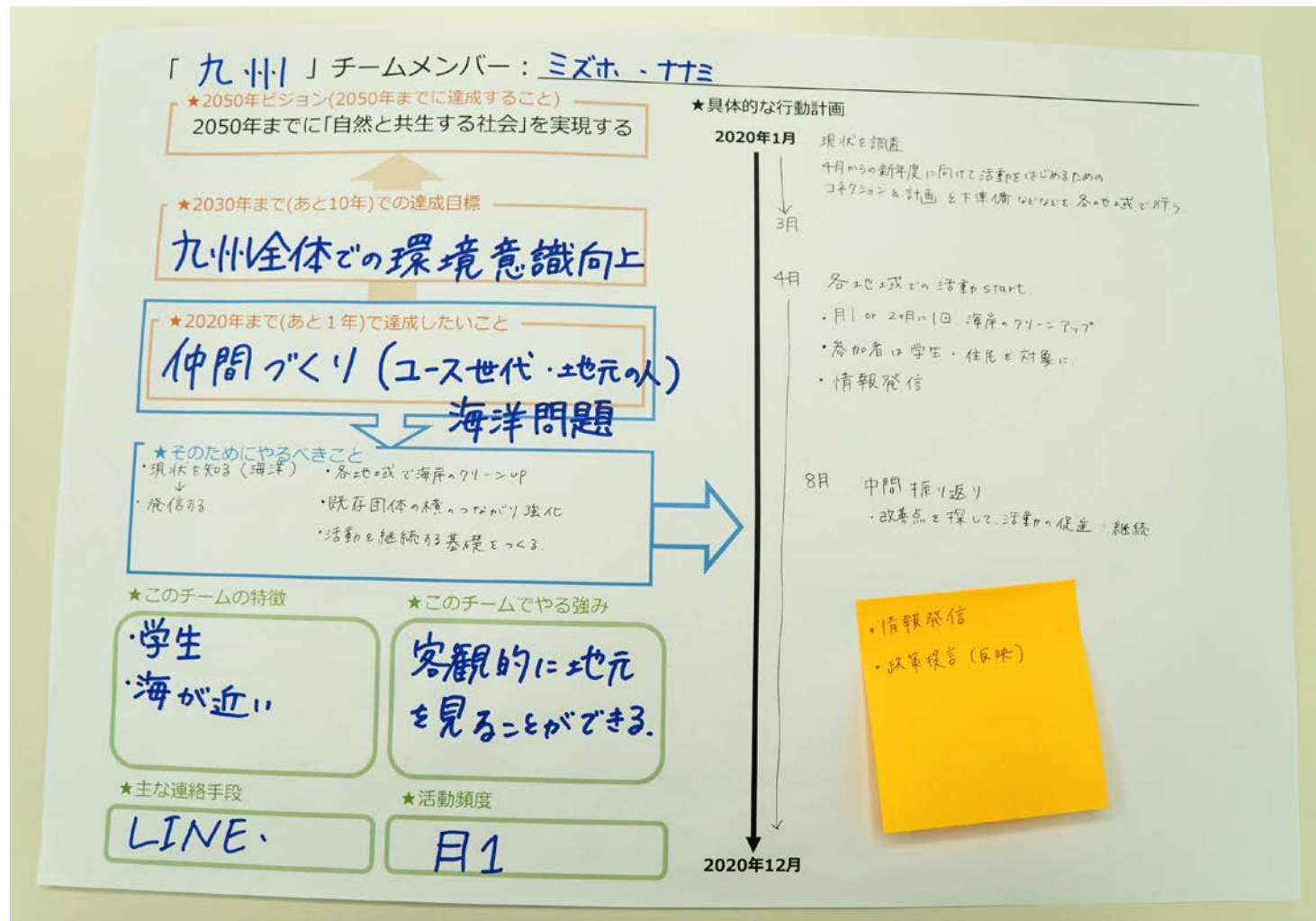
① 都市緑地のゾーニング

② ビジターセンター
より有効に活用されて
いるのか
設置率とか

③ シェドリスト
グリーンリー
矢張りた自然
再生できた自然

④ 都市の再開発
オフセット
取引入+54㎡-3ab

分科会：WS② これからの10年を考える



分科会：WS② これからの10年を考える



**でもごめんなさい
アンバサダーの追加募集は
しない予定です・・・**

**ですが！！
今からでもすぐに参加できる
枠組があります**

「生物多様性ユースメッセンジャー」の紹介！



- やる気のある日本全国の「ユース」を巻き込み、
より多くの人たちで活動することを目的に作った役割
- 国際も含む**環境系や生物多様性に関する情報が手に入る**
(仲間も増えるかも)
- 全国のユースの想いや意見など
ユースのメッセージを集めてくるのが主な仕事！
- 絶賛登録受付中！**(登録無料、審査なし)

登録はこちらから！

「**COND ユース**」で検索！

HPから、専用登録フォームにアクセスできます★



ご清聴ありがとうございました！



More information

Mail: secretariat.cond@gmail.com

